

●旧富田家住宅

富田家は、材木商を生業とし、もと多武峰に居住していたが、明治30(1897)年頃、当地に移転した。桜井でも特に早期に創業した材木商で、大正期には、東京や名古屋に出張所を置き、北米やシベリアから木材を輸入するなど、幅広く事業を展開していた。現在残る6棟は、事業が拡大した昭和前期に建築されたものである。平成30(2018)年に全面的に改修され、現在は宿泊施設として利用されている。

洋館はドイツ壁に木部を現すハーフティンバー調の建物で、応接用に設けられたと思われる。内部天井は漆喰塗りとし、中心飾りを設ける。小品ながら瀟洒な印象を与える。

離れは敷地中央付近に位置する。2階はたちが高く開放的な造りで、簡明ながら造作は丁寧である。

奥座敷は離れの西に接し敷地西端に建つ。庇部分を銅板葺とした軽快な建物である。中心となる八畳間の天井は折上のうえ網代張りとする手の込んだ意匠を見せる。

茶室は内蔵の東に建ち、奥座敷から渡廊下で接続する。建築時の図面が残る。

内蔵は敷地北西隅に建つ。鉄筋コンクリート造だが、外観は土蔵風の漆喰塗り込めとする。

道具蔵は敷地南側に建つ背の低い土蔵である。内部は1室であったが、浴室に改修された。

・旧富田家住宅洋館 (きゅうとみたけじゅうたくようかん)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 木造平屋建、スレート葺、建築面積34㎡

・旧富田家住宅離れ (きゅうとみたけじゅうたくはなれ)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期／平成30年改修
構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積52㎡

・旧富田家住宅奥座敷 (きゅうとみたけじゅうたくおくざしき)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期／平成30年改修
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積54㎡

・旧富田家住宅茶室 (きゅうとみたけじゅうたくちゃしつ)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期／平成30年改修
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積13㎡

・旧富田家住宅内蔵 (きゅうとみたけじゅうたくうちぐら)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期／平成30年改修
構造・形式・規模 鉄筋コンクリート造2階建、瓦葺、建築面積19㎡

・旧富田家住宅道具蔵 (きゅうとみたけじゅうたくどうぐぐら)

所在地 桜井市大字桜井
建築年代 昭和前期／平成30年改修
構造・形式・規模 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積19㎡

●旧吉野銀行桜井支店

吉野銀行は、現在の南都銀行の前身となった4銀行のうちの1つである。桜井支店は
大正8(1919)年に開設されているが、当初の所在地は異なっていたらしく、現在の建物につ
いては、昭和5(1930)年に建設されたものであることが、設計図書より明らかである。

吉野銀行は、昭和9(1934)年に、他行との合併により南都銀行となり、桜井支店は昭和1
0(1935)年に廃止された。その後は、玄関を撤去しシャッターを取り付けるなど、度重な
る改造を受け、当初の面影を失っていたが、平成30(2018)年に改修工事を行い、往時の姿
を取り戻した。現在はフレンチレストランとして利用されている。

建物は、木造2階建て、寄棟造り鉄板葺で、一階を人造石塗り、二階をタイル貼りとし
る。内部は吹き抜けとし、2階に回廊を廻す。設計者は岩崎平太郎。

・旧吉野銀行桜井支店 (きゅうよしのぎんこうさくらいしてん)

所在地	桜井市大字桜井
建築年代	昭和5年／平成30年改修
構造・形式・規模	木造2階建、鉄板葺、建築面積100㎡